

株主の皆さまへ

2024年3月期（第124期）第2四半期

バルカーレポート

2023年4月1日 ▶▶ 2023年9月30日

Value & Quality

THE VALQUA WAY

基本理念

Value
&
Quality

(価値の創造と品質の向上)

4つの
経営理念

- ・ 社会の発展のために
- ・ 正正堂堂と
- ・ 世界中のステークホルダーへ
- ・ 独創的技術で

行動指針
10項

- 1 事業を通じた社会への貢献
- 2 顧客感動の提供
- 3 人格と個性の尊重
- 4 株主との信頼関係の構築
- 5 地域社会との共生
- 6 安全衛生は全てに優先
- 7 コンプライアンス遵守と誠実な行動
- 8 環境にやさしいモノづくり
- 9 資産の保全と有効活用
- 10 チャレンジ精神にあふれた「学習と成長」への強いこだわり

Value & Quality

価値の創造と品質の向上

ごあいさつ

株主の皆さまに2024年3月期（第124期）第2四半期バルカーレポートをお届けします。

当第2四半期までのグローバル経済は、新型コロナウイルス感染症からの回復が一段落したことに加え、インフレ、米中関係の悪化、ロシアによるウクライナ侵攻等の影響もあり、総じて伸び悩む結果となりました。

わが国においては、個人消費は物価高の影響を受けて期待ほどの伸びとならず、また製造業は自動車関連など一部分野で生産動向が回復したもののコスト上昇等がマイナス要因となり、全体としては勢いに欠ける状況となりました。

このように厳しい事業環境下バルカーは、当期を最終年度とする中期経営計画“New Frontier 2023”（NF2023）で掲げた「成長を守る」という視点に立ち、将来に亘る「健全で持続的な成長」の実現に向けて攻守両面の改革を推進しつつ、足許の収益確保に向けた施策を迅速に実施しました。

当第2四半期までは、前年同期比増収減益となりましたが、当期後半に向けても半導体関連産業の景況悪化の長期化や世界各地における地政学問題の悪化が懸念されるなど、予断を許さない状況になっております。

それに対しバルカーは、NF2023の仕上げに向けて各戦略の効果を最大限に発揮することに努めつつ、DX（デジタルトランスフォーメーション）などによる新たな価値創造を図り、さらに成長市場における“次の山”を展望した事業運営を行ってまいります。

2023年12月

代表取締役会長CEO

龍澤 利一



シール製品事業

売上高 **18,751** 百万円
売上高 構成比 **60.1** %



事業概況

シール製品事業は、機器市場向けが増加したものの、先端産業市場向けは半導体メモリーの生産調整及び半導体業界の設備投資見直しの影響を受けて減少したことにより、187億5千1百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は17億5千1百万円（同47.6%減）となりました。

今後の展開

バルカーグループの主力事業として、先端産業市場における業容を拡大するとともに、機器市場やプラント市場向けを含めてDXによる新たな顧客価値を提供し、収益力の向上を図ってまいります。

機能樹脂製品事業

売上高 **10,858** 百万円
売上高 構成比 **34.8** %



事業概況

機能樹脂製品事業は、プラント市場向けが高機能化学品の輸送用途などで拡大したことに加え、先端産業市場向けにおける大型案件の売上計上が寄与し、売上高は108億5千8百万円（前年同期比35.6%増）、セグメント利益は21億1千2百万円（同240.1%増）となりました。

今後の展開

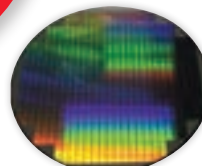
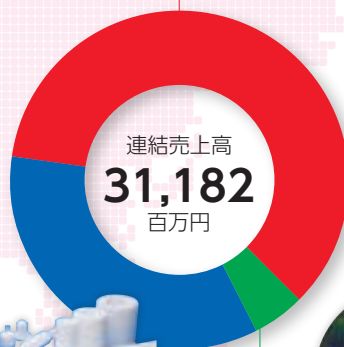
先端産業市場及びプラント市場向け戦略製品を軸にグローバルシェアの拡大とそれを支えるサプライチェーンの整備を進めるとともに、事業構造改革を推進し、収益力の向上を図ってまいります。

事業概況

シリコンウエハーリサイクル事業他は、新規事業分野を含むH&S事業は開発費用等が先行しているものの、主力事業の需要は堅調に推移し、売上高は15億7千3百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント利益は1千万円（前年同期はセグメント損失2千1百万円）となりました。

今後の展開

シリコンウエハーリサイクル事業における品質の向上を通じた収益力の強化に加え、H (Hard) & S (Service) 事業の業績化を速やかに図り、新たな価値創造を具現化してまいります。



シリコンウエハーリサイクル事業他

売上高 **1,573** 百万円
売上高 構成比 **5.1** %

Consolidated Financial Statements

連結財務諸表

四半期連結損益計算書

単位：百万円

科目	前第2四半期累計期間 自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日	当第2四半期累計期間 自 2023年4月 1日 至 2023年9月30日
売上高	29,577	31,182
売上原価	17,414	18,539
売上総利益	12,162	12,643
販売費及び一般管理費	8,219	8,768
営業利益	3,943	3,874
経常利益	4,162	4,064
税金等調整前四半期純利益	4,629	4,004
四半期純利益	3,212	2,720
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,173	2,698

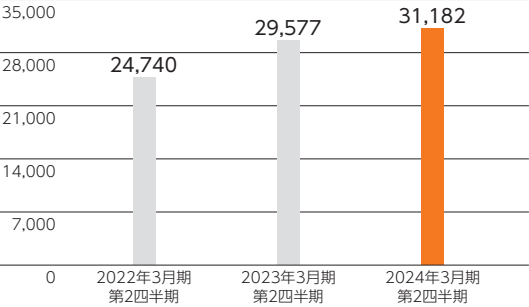
四半期連結貸借対照表

単位：百万円

科目	前期末 2023年3月31日	当第2四半期末 2023年9月30日
資産の部		
流動資産	41,230	46,572
固定資産	27,276	28,564
資産合計	68,507	75,137
負債の部		
流動負債	16,591	17,837
固定負債	6,238	9,826
負債合計	22,830	27,664
純資産の部		
株主資本	41,926	43,138
その他の包括利益累計額	3,267	3,838
非支配株主持分	482	495
純資産合計	45,677	47,472
負債純資産合計	68,507	75,137

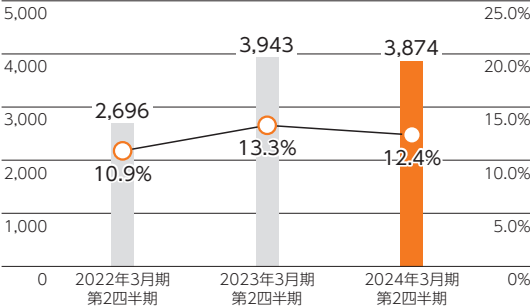
売上高

単位：百万円



営業利益 / 営業利益率

単位：百万円



配当

	中 間	期 末	年間配当
2022年3月期	50.0 円	75.0 円	125.0 円
2023年3月期	60.0 円	90.0 円	150.0 円
2024年3月期	75.0 円	75.0 円 (予想)	150.0 円 (予想)

アナログ計器読み取り支援サービス AlgoEyeをリリース

バルカーは、今冬にアナログ計器の数値読み取り作業を支援する「AlgoEye（アルゴアイ）」をリリースします。設備管理で現場作業員が日々実施している検針業務を効率化します。

■ アルゴアイとは

アルゴアイは日常点検や定期点検などで確認する圧力計をはじめとしたアナログメーターの数値の読み取りをスマホカメラで行うことが出来るソリューションです。

メーターを撮影するとAIが画像解析を行い、自動的に報告書に記録されます。日々の点検で数多くある検針作業、属人化しやすく非効率だったアナログメーターの読み取りを簡単かつ短時間で検針値を帳票に記録し、巡回点検のさらなる効率化を実現しま

した。アルゴアイの利用により点検作業時間はおおよそ半分、データ化や報告書作成の時間はおおよそ9割削減できると試算されました。

アルゴアイは設備点検をより安全に、より効率よく、より総合的に実現したいというニーズに応え誕生しました。今年4月にリリースした、設備点検プラットフォームであるクラウドサービス「MONiPLAT（モニプラット）」と連動して点検業務をさらに進化させるソリューションのひとつです。

■ 特徴

① 検針スキルの属人化を解消

スマホカメラを使ってアナログメーターを撮影するだけで値を読み取ることができます。

初回のみメーターの開始値、終了値を登録することで、以降はメーターの撮影で数値の自動読み取りが完了します。これにより経験や熟練度で差が出やすい、読み取り間違いが低減します。

② 高い値読み取り精度

2021年12月に資本業務提携を締結している株式会社リッジアイと開発したAIによる高度な読み取り技術を活用しています。社内検証においては、正面画像で正解率^(※)90%以上、角度をつけて撮影しても全体としては正解率約80%の読み取り精度であり、本ソリューションは他社製品に比べて正解率が約10%高いことを確認しました。

(※正解率の定義：正解値と予測値の値誤差が1.6%以内)。

③ MONiPLATとの連動

アルゴアイは設備点検プラットフォーム、モニプラットのなかで連動するソリューションです。

メーター検針を自動で読み取った後は、モニプラットアプリにより、現場で検針・点検結果や現場写真をアップロードし、自動で報告書の作成を行うことで作業時間の短縮を大幅に実現します。

そのほかにも、定量点検やヒトが行う視覚・聴覚・嗅覚・触覚などの五感点検が可能です。

複雑で煩雑な設備点検を一つの画面で管理し、それぞれの点検報告や実施スケジュール、状態異常などもアラートで通知し、担当者の手間を減らすことが出来ます。

サービスイメージ



メーター撮影



メーター読み取り



点検報告書作成

AIが自動解析し
自動で数値を
読み取り、
点検報告書に反映

■ 今後の展望

モニプラットは、バルカーの製品を利用いただいているお客さまに加え、医薬・食品・鉄鋼・電力・建設・運輸など製造業を中心に多分野での点検に活用されており、現場における点検業務のデジタル化において多くのユーザーに適用できるものです。

今後もリッジアイとの密な協働により開発を進め、外部サービスとの連携も積極的に行いながら、

製造業のスマート保全につながる予知保全サービスも積極的に拡充していく予定です。今回ご紹介したソリューションアルゴアイのみならず、これまでバルカー製品の販売で培ってきた広い顧客接点を活かし、現場起点におけるソリューションを提供してまいります。

■ 関連情報

【アルゴアイ】

- Web：今冬に公開予定 (<https://moniplat.com/algoeeye>)

【モニプラット】

- Web：<https://moniplat.com>（「モニプラット」と検索ください）
- アプリ：iOS／Android共に無料提供

会社の概況 (2023年9月30日現在)

社 名 株式会社バルカー
(英文表記 VALQUA, LTD.)

創 業 1927年1月21日

設 立 1932年4月8日

資本金 13,957百万円

発行済株式総数 18,688,733株

株主総数 35,348名

従業員数 421名 (連結 1,661名)

役 員 (2023年10月1日現在)

取締役

代表取締役会長
C E O 瀧澤 利一

代表取締役社長
C O O 本坊 吉博

取締役副社長
C D O 中澤 剛太

取締役専務執行役員
C T O 青木 睦郎

取締役(社外) 関根 近子

取締役(社外) 齊藤 三希子

取締役(社外) 沓澤 浩也

監査役

常勤監査役 高 昭夫

監査役(社外) 八戸 孝彦

監査役(社外) 高橋 秀法

CEO: 最高経営責任者
COO: 最高執行責任者
CDO: 最高デジタル責任者
CTO: 最高技術責任者
CSO: 最高戦略責任者
CQO: 最高品質責任者
CCO: 最高コンプライアンス責任者

執行役員

上席専務執行役員 櫻井 慎也

専務執行役員
CSO兼CQO 椿山 善昭

専務執行役員 瀧澤 利治

常務執行役員 森田 信利

常務執行役員 小川 禎

常務執行役員
C C O 谷田部 麻美子

常務執行役員 植木 聡

常務執行役員 神田 大輔

常務執行役員 伏屋 克俊

執行役員 立田 寛

執行役員 野邊 淳嗣

執行役員 今井 将廣

執行役員 後藤 智子

執行役員 門脇 卓幸

執行役員 村上 良太

執行役員 能勢 正章

執行役員 川上 孝弘

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人
及び特別口座
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(ホームページ) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>

公告方法 電子公告
<https://www.valqua.co.jp/ir/koukoku.html>
ただし、事故その他やむを得ない事由により
電子公告によることができない場合は、
日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 プライム市場



〒141-6024
東京都品川区大崎二丁目1番1号 ThinkPark Tower24階
TEL : 03-5434-7370 FAX : 03-5436-0560
URL : <https://www.valqua.co.jp/>



※ この報告書は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。